

令和7年度 第4回定例記者会見（説明内容）

【市議会定例会日程】〔資料1ページ〕

3月議会定例会は、会期を2月24日から3月19日までの24日間として開催いたします。

【定例会提案議案】〔資料2～4ページ〕

本定例会に提出する案件は、令和8年度当初予算案件が10件、補正予算案件が3件、条例案件が11件など、計32件であります。また、専決処分の報告案件が1件であります。

【令和8年度当初予算（案）の概要】〔資料5～7ページ〕

令和8年度一般会計予算の総額は、399億2,000万円で、前年度に比べ、16億8,000万円、4.4%の増となっています。これは、物価高騰への対応はもとより、こども園の施設整備補助などに伴う民生費、水道施設統廃合事業出資金などの衛生費、中学校屋内運動場等への空調設備設置などに伴う教育費などの増加によるものです。

特別会計6会計の合計額は、196億7,500万円で、前年度に比べ1億1,100万円、0.6%の減となっています。

公営企業会計では、簡易水道事業会計を水道事業会計に統合することで3会計になり、収益的支出及び資本的支出の合計額は、101億5,295万8千円で、前年度に比べ1億7,179万円、1.7%の増となっています。

全会計の総額は、697億4,795万8千円で、前年度に比べ17億4,079万円、2.6%の増となっています。

(2) (3) と当初予算規模、そして一般財源の推移を、それぞれ掲載しております。のちほど、ご確認いただければと思います。

特筆すべき事項としましては、一般会計、公営企業まで含む全会計の規模は、ともに過去最大であります。

次に、(4) 基金の状況につきましては、財政調整基金繰入金を12億8,000万円計上しているほか、各事業の財源として、適宜、関係する特定目的基金からの繰入金を計上しており、令和8年度末基金残高の総額を、約165億100万円、うち財政調整基金は、約48億4,800万円と見込んでおります。

(5) 市債残高の推移となります。一般会計では令和8年度末市債残高の見込額を約359億6,000万円と見込み、前年度に比べ約5億2,800万円減少し、全会計の合計は、約582億4,700万円を見込んでおります。

次に、(6) 特別会計等に対する一般会計からの繰出金等の状況であります。

主なものとして、水道事業が、小見川水道施設統廃合事業の増加や簡易水道事業の統合により出資金の増加など約17億7,100万円と、前年度に比べ約6億6,700万円、60.4%の増となっております。

【一般会計予算案の概要】〔資料8～9ページ〕

続いて、一般会計予算案の概要につきまして、順次、ご説明いたします。

(1) 歳入については、多い順に、11款 地方交付税、1款 市税、15款 国庫支出金となります。

前年度との比較では、22款 市債は、中学校屋内運動場空調設備事業債や水道

施設統廃合事業出資債の増などにより増加しました。19款 繰入金は、財政調整基金や地域振興基金の減額などにより減少し、11款 地方交付税は、国の地方財政計画等を基に算出した結果、増加となっております。

(2) 歳出については、多い順に、3款 民生費、2款 総務費、4款 衛生費となります。

前年度との比較では、3款 民生費で、こども園の施設整備に要する経費や利用者の増加に伴う障害者自立支援給付費で、4款 衛生費で、水道施設統廃合事業出資金やごみ処理施設運営費負担金の増額などにより、10款 教育費で、中学校屋内運動場や市民体育館に空調設備を設置する経費の増額などにより、増加しております。

【一般会計予算案における主要事業】〔資料10～14ページ〕

一般会計予算（案）の歳出における主要事業として、

10ページから14ページにかけて50事業を列挙しておりますが、ここでは新規や拡充したものを中心に、ご説明いたします。

2の「企画一般事務費」は、成田空港対策を推進するため、地下水産業利用調査業務や地域まちづくり基本構想策定業務などの委託料を計上しました。

3の「計画策定事業」は、第2次香取市総合計画等の終期が令和9年度末であることから、次期計画を2か年にかけて策定するため、総合計画策定業務委託料等を計上しました。

4の「バス路線運行事業」は、稲敷市江戸崎から佐原駅まで運行している路

線バスの維持を図るため、新たに運行補助金を計上しました。

5の「ふるさと香取応援寄附金事業」は、ふるさと納税の令和7年度の申し込み状況を踏まえ、寄附金の当該基金への積立額として、前年度より1億5千万円多い、9億円を計上しました。

6の「移住・定住促進事業」は、地域おこし協力隊の更なる増員や、関係人口の創出を図るため、新たにふるさとワーキングホリデー業務委託料などを計上しました。

8の「自家用有償旅客運送事業」は、市内を走らせるデマンド交通「かどくる」の区域運行を拡大することから、運行業務委託料を増額して計上しております。

10の「市民協働まちづくり活動事業」は、住民自治協議会において地域の課題解決に向けて事業展開する市民活動団体を支援するため、住民自治協議会連携団体助成事業補助金を計上しました。

11の「合併20周年記念事業」では、合併20周年の機運を高めるため、千葉交響楽団コンサート開催や、ギネスへのチャレンジ、Vtuberと伊能忠敬記念館のコラボ事業など、各種事業を実施するための経費を計上しました。

15の「高齢者等の生活支援事業」は、在宅の高齢者等を見守る緊急通報システムについて、現状の固定電話回線限定の利用に加え、携帯電話等の利用もで

きるよう拡充する経費を計上しました。

18の「こども家庭センター運営事業」は、妊産婦に対する支援の充実を図るため、不妊治療費、不育症治療への助成をはじめ、産後ケア事業などを実施しています。また、新たに産婦検診に助成を行う経費を計上しました。

19の「子育て世帯訪問支援事業」は、家事や育児等に不安や負担を抱えている子育て家庭、妊産婦等を対象に支援員が訪問し、支援を行う子育て世帯訪問支援事業委託料を新たに計上しました。

21の「保育所施設整備事業」は、民営化した瑞穂めぐみこども園が、令和8年度から令和9年度にかけて園舎の建替えを行うことから、運営事業者への整備補助金を計上しました。

22の「放課後児童クラブ施設整備事業」は、老朽化が進む佐原児童クラブの移転、建て替えを行うための設計業務委託料を計上しました。

24の「成人保健事業」では、骨粗しょう症による骨折予防を図るため、新たに骨粗しょう症検診委託料を計上しました。

28の「米政策改革事業」は、物価高騰の影響を受けている耕種農家、畜産農家、コントラクター3者の耕種連携維持を図るため、自給力向上団地化のWCS（ホール・クロップ・サイレージ）の奨励金の単価を引き上げました。

31の「観光振興対策事業」では、合併20周年を記念して小見川花火大会の打ち上げ花火を1万発に拡大する経費を計上しました。

32の「観光関連施設整備事業」は、香取神宮と市内観光資源との回遊性を高めるため、香取神宮参道に観光案内所を整備するための設計業務委託料を計上しました。

37の「都市計画総務一般事務費」は、2か年かけて都市計画マスタープランの見直しをする経費などを計上しました。

38の「公園施設整備事業」は、香取市公園施設長寿命化計画に基づき、香取市北地区にあるわんぱく公園の再整備に係る工事費を計上しました。

39の「街なみ環境整備事業」は、景観形成地区内にある老朽化した照明設備を更新する経費を計上しました。

41の「地域防災対策事業」では、土砂災害警戒区域等の指定など、近年改正された重要な防災情報を広く周知するため、香取市総合防災マップの更新に係る経費を計上しました。

43の「小学校・中学校照明設備改修事業」は、市内小中学校の照明をLED化する経費として、17校分の設計業務委託料を計上しました。

45の「中学校屋内運動場空調設備設置事業」は、今年度の佐原中学校、小見川中学校への整備に続き、令和8年度は、中学校5校の空調設備設置工事費などを計上しました。これにより、市内全中学校の屋内運動場に空調設備が整うこととなります。

47の「文化会館設備改修事業」は、佐原文化会館設備の経年劣化に伴い、照明等の設備及び舞台機構の更新工事を計上しました。

48の「体育館空調設備設置事業」は、市民体育館において、利便性の向上を図るため、アリーナに空調設備を設置する経費を計上しました。

50の「学校給食費無償化」は、子育て世帯の負担軽減を図る観点から、新たに創設される学校給食費の負担を軽減する交付金等を活用し、令和7年度に引き続き、小中学校全学年を対象に給食費無償化を実施いたします。

【3月補正予算案の概要】〔資料15ページ〕※議案書1～64ページに記載

一般会計補正予算（第8号）は、7億5,554万8千円を追加し、補正後の総額を、416億9,498万5千円とするものです。

このほか、国民健康保険事業特別会計、土地取得事業特別会計で補正予算を提案しております。

次に、一般会計における債務負担行為の補正につきましては、児童館清掃業務委託など8事項について、令和8年度予算の執行にあたり、年度当初から、円滑に業務を開始するため、設定するものです。

【3月補正予算案における主要事業】〔資料16ページ〕

一般会計補正予算の主な事業内容について、説明します。

8つの事業を列挙しておりますが、主なものを説明いたします。

1の「公共施設整備基金積立」には、今年度の決算見込みを踏まえ、次年度以降の公共施設の整備等の財源に充てるため、公共施設整備基金への積立金8億円を計上しました。

2の「保育運営委託事業」には、決算見込みに合わせ各事業補助金を減額したほか、公定価格の改定に伴い、保育運営委託料に1億1,194万2千円を追加しました。

5の「上水道事業」には、小見川浄水場更新工事において、事業進捗に伴い安全対策事業出資金及び水道施設統廃合事業出資金、併せて4億6,365万1千円を計上しました。

【12月定例会以降に専決処分した補正予算】〔資料17ページ〕

12月17日付けで専決処分した一般会計補正予算（第6号）は、物価高対応子育て応援手当給付金の支給に係る予算であり、1億6,468万7千円を計上しました。

1月23日付けで専決処分した一般会計補正予算（第7号）は、物価高騰対応重点支援給付金の支給及び衆議院解散に伴う衆議院議員総選挙の執行に係る予算であり、7億7,317万9千円を計上しました。なお、物価高騰対応重点支援給

付金では、市民一人当たり1万円を支給する内容となっております。

【予算案件以外の主な議案】※〔議案書65～79ページ〕

議案第14号の「香取市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」の案件は、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の運営に関する基準について、国の基準を踏まえて、市町村が条例で定めると規定されていることから、新たに条例を制定するものであります。

【担当課説明】〔資料18ページ〕

- ・「香取市合併20周年記念式典開催」（総務課）

【参考資料】〔資料19ページ〕

主な行事予定（令和8年3月～令和8年6月）

【その他】

インフラメンテナンスチャレンジ賞の受賞について

【物産PR】〔資料20ページ〕

- ・香取の逸品「PREMIUM 干し芋」

干し屋で製造している干し芋は香取市産の芋を中心に使用しており、その中でも色・形・味を厳選したものをPREMIUM干し芋として販売しています。そのため、原料芋の10%未満しか生産できない貴重な商品となっております。製造のこだわりとして、冬の気候を再現した「寒風干し」が特徴の機械で二日間じっくり干し、見た目の良さ、上品な口当たりを実現しています。